



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.1.28 No.3936

## 「とまで手が回らせんよ!?!」 — ダイ改後の問題桌(勝浦) —

### 必要な業務指示 もできないよう な失格管理者は 辞めろ!

ダイ改以降、勝浦運転区では次のような問題が発生している。B六五行路は、幕張電車区入出区となる行路であるが、運転士が出区番線に行ってみると、八両編成のはずの出区車両が四両しかないのである。当然にもダイ改以降毎日のように大騒ぎになっていた。

それもそのはずで、併結される残り四両が幕張電車区に入区してくるのは、出区に必要な時間ギリギリになってから、という作業ダイヤが組まれているのだ。ギリギリもいいところで、予定どおりに列車が入区してきたとしても、併結作業に要する時間、出区点検に要する時間、出区に要する時間足すと、一分の余裕もない時間しか組んでいないのだ。しかも、このような作業を組んでいることは、当該の運転士には一言も指示されていなかったのだ。

勤務千葉は、必要な業務指示が全く行なわれていなかったために、混乱が発生していることの原因と責任を明らかにし、また、無理な時間設定を行なっていることに対する見解を求め、申し入れを行なった。しかし、

千葉支社の回答は、「出区に必要な時間は確保している」と、ただ一行だけの不誠実なものがあった。そればかりか、「どうして必要な業務指示が行なわれないのか」と質すと、何と、「そこまで手が回りませんよ」と言ってしまった顔をしている有様なのである。自らのやるべき業務がはたされていなかったことに、何の責任も何の痛みも感ぜず、かつ「手が回らない」とひらき直るのだ。支社や現場の管理者は一体何のためにいるのか。こんな連中が、普段口を開けば事あるごとに「プロ意識に徹しろ」というのだ。冗談はいいかげんにしてほしい!

### 一分の余裕もない出区作業

【団交の主な経過】

組 当 入区列車が併結番線に到着するのは十六時五五分であり、併結作業から出区までの時間は、充分というか、びつたりだが、必要な時間とはとってある。

組 必要な時間とはとってあるなどというが、実際に入区列車が到着するのは十七時を過ぎる場合もあり、また、入信は早く開いてしまうので、出区点検をやっている最中に煽られていた状態だ。

当 …… 実態調査も行なったが、必要な時間とはとってある。

組 一分も余裕のないような時間を設定しておきながら、必要な時間とはとってあるなどというのは問題だ。入区列車が少しでも遅れたり、併結作業が手間取ったりすれば、それだけで遅れてしまうということではないか。しかも、現場では、出区点検は余裕をもつて10分前には行くようにと指導しているのは何なのか。

### 運転士が自己防衛、支社は「手が回らない」と開き直り

組 そればかりではない。こんなギリギリの時間設定をしておきながら、出区させる列車が何時に編成されるのか、ということは何故運転士に指示しないのか。ダイ改以降、運転士が、出区番線に行っても出区車両がない、ということですと混乱が起きている。

今、運転士が自己防衛で時間を紙に書いてやっている。こんなことは本来会社側が、幕張の当直なりで指示すべきことだ。

組 当 手回らない」とは何とどういう言い方か。運転士が出区しに行ったら、八両編成のはずが四両しかなかったらどう

な混乱が起きるのか考えたことがあるのか。

この間交渉しているとおりにダイ改で作業が変わっていないが、必要な業務指示が行なわれていないような事態が多発している。一体管理体制はどうなっているのか。

組 …… 指摘された点に関しては今後検討する。

組 しかもこの行路は、二二時時まで食事もとれない。

当 この行路は、幕張入区後、今議論した出区作業までの間にとれる。

組 十五時四二分の入区で、十五時台に夕食をとれというのか。しかも、出区までに食事を要する時間などあるのか。

当 ……

組 次期ダイ改までこんなダイヤではたまらない。検討せよ

当 食事時間については検討する。

※31.定期委  
2月16日、13じ〜  
県観光物産センター